

小学校中 学年＜ 4－（12）＞

学 年	4年	時 間	社会科「郷土」 ～川の洪水を扱った場合～	時 期	11月ごろ	時 数	1時間（45分）
目 標	日本の川の洪水の特徴をとらえ、安全に避難する方法を考えることができる。						
資料・準備	スライド「日本の川と外国の川をくらべてみよう～洪水の危険性について～」、ワークシート、世界地図、学習したい近くの川の状況写真等						

展開

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇)予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導 入	1 前時の学習を想起する。 洪水被害にあわないよう安全に避難するには、どうすればいいだろう。	○近くの川の写真等を提示し、前時に学習した内容を想起させる。 ・台風による川の増水の様子 ・昔の水害の様子
展 開	2 先生の話「日本の川と外国の川をくらべてみよう～洪水の危険性について」を聞く。 3 日本の川と世界の川の違いについて考える。 4 意見を出し合う。	○プレゼンテーションの画面も見ながら、ワークシートにメモを取って聞くように促す。 ○気候や河川の特徴から、日本の川は短時間のうちに一気に増水することをとらえさせたい。 ＜外国・日本の洪水例＞ バングラディッシュ 1日に増える量約2cm 日本 1時間に増える量約1m ○班ごとに「外国の川と日本の川の洪水の特徴」について話し合い、洪水の被害にあわないために気をつけることをワークシートにまとめる。 ＜外国＞ 洪水になるまで数ヶ月かかる 川の流れる速さがおそい ＜日本＞ 雨が降ると急に水量(深さ)があがる 川の流れる速さが速い というそれぞれの特徴をとらえさせる。 ☆日本の洪水の特徴をとらえ、被害にあわないために注意することを考えることができる。 ○話しあったことを班ごとに発表させる。 ○日本ではあっという間に増水するので、2階以上の建物に避難する。 ○浅い浸水でも歩くことは難しく危険なので、外には絶対に出ない。 ○正しい情報を速く得ることが大切。→気象情報HP等について必要に応じて説明する。
ま と め	5 本時の振り返りをする。	○正しい情報を得て、迅速に避難することが大切であることを確認する。

関連する教科・領域等	
協力団体	鳥取大学
題材・指導案等	平成23年度鳥取型防災教育モデル校（鳥取市立明德小学校）の実践を参考に作成